

町田市 みんなの健康をより



2019年7月1日号
Vol.29

発行：町田市 編集：町田市保健所健康推進課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
☎042-724-4236 FAX050-3101-4923
町田市ホームページ www.city.machida.tokyo.jp
次号の発行は2019年11月1日(金)の予定です。



携帯電話用
QRコード

今号の紙面

- 2面 ▶季節のメディカル
熱中症患者の半分は高齢者です
本人もまわりも予防を心がけて！
▶カラダ NAVI
大腸がん検診で毎年のチェックを！
- 3面 ▶健康シグナル
新生児聴覚検査を受けましょう
▶健康レスキュー
AEDを貸し出しています
▶暮らしのトピック
海外に行く際は感染症にご注意！
- 4面 ▶食材使い切りレシピ
皮まで使って食品ロス削減
▶REPORT
第2次町田市食育推進計画を策定

お問い合わせ 健康推進課 健康推進係 ☎042-724-4236

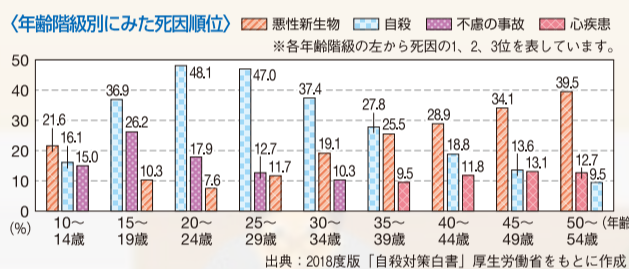
特集 若者たちの 悩みを支える

なにかとストレスの多い現代社会では、おとなたちと同様に、子どもたちや若者たちも悩みを抱えています。人間関係や、就職、仕事にまつわる問題、お金に関すること、健康問題などさまざまな要因が重なり、悩みはより深くなります。家族や周囲の人たちの理解や支えはもちろんのこと、誰にもいえず、ひそかに悩んでいる人に気づき、話を聴き、支える人たちの存在が今、本当に求められています。若者が悩んでいる現状も交え、その必要性をご紹介します。

若者たちが抱える悩み

若者たちはさまざまな悩みを抱え苦しんでいることがあります。なかには自殺を選択してしまう場合もあり、それは複数の悩みが複雑に絡み合った末に、追い込まれた死と考えられています。グラフが示すように、若年層（15～39歳）の死因の第1位は自殺によるものであるため、対策が必要とされます。町田市では、ゲートキーパーの養成やグーグル検索対応事業、「悩み」の相談先一覧の配布、SOSの出し方の教育などを推進しています。

「悩み」の相談先一覧はこちら
<https://www.city.machida.tokyo.jp/iryu/hokenjo/jouhou/nayaminosoudansaki/files/nayaminosoudansaki.pdf>



ゲートキーパーに大切なこと

相手から「もう死にたい」といわれたとき、それを一人で抱え込まないことが重要です。周囲の力を借りながら、みんなで支えることが大切です。そのうえで、次のようなことを心がけましょう。

やっていいこと

- ① 大切な悩みを、自分だから打ち明けてくれた、ということを見守る
- ② 聴き役に徹的にまわる
- ③ 共感し「つらかったね」などとねぎらう

やってはいけないこと

- ① 話題をそらす
- ② 激励する
- ③ 一般的な価値観をおしつける
- ④ 叱りつける
- ⑤ 批判する
- ⑥ 質問を連発する

出典：NPO法人OVA 伊藤次郎氏提供資料

ゲートキーパーとは？

悩みを抱えて苦しんでいる人々を救うための対策の一つとして、ゲートキーパーの養成があります。ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、専門家につなぐ人のことをいいます。特別な資格を必要とするわけではなく、誰もがゲートキーパーになることができます。

ゲートキーパーの役割

- 気づき** 「家族や仲間の様子がいつもとちがう」など、まわりの人の変化に気づく
- 声かけ** 「なんだか元気ないけど、大丈夫？」 「なにか力になれることはない？」 など
- 話を聴く** 否定せずじっくり相手の話を聴き「大変でしたね」とねぎらう
- 専門家につなぐ** 悩みの内容に応じて適切な専門家につなぐ

なぜゲートキーパーが必要なのか？

悩みを抱えた若者は「人に悩みをいえない」、「どこに相談に行ったらいいかわからない」、「どのように解決したらいいかわからない」などの状況に陥ることがあります。誰にも相談できないまま、追い詰められてしまう前に、周囲の人がゲートキーパーとなって話を聴き、いっしょに考え、寄り添うことが必要です。それによって悩みが解決に向かうこともあります。町田市では、市民向け・専門職向け・地域ネットワーク向け・教職員向けに、対象者ごとのゲートキーパー養成講座を、ニーズや段階に合わせて実施しています。

無料 市民向け ゲートキーパー養成講座

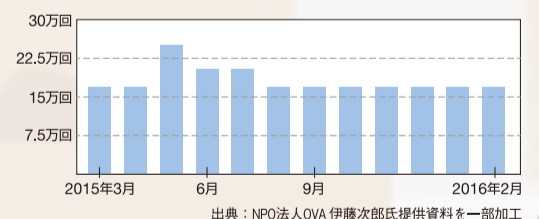
町田市の取り組む養成講座の一環で、今回はミュージカル「つまづいても」を上演します。複数の悩みを抱え苦しむ大学生が保健センターの相談員や周囲の協力で再生をめざす内容。うつ病の症状や治療と回復への道などが描かれ、支える人たちの必要性や接し方が学べます。



グーグル検索対応事業

SNSに自殺願望を書き込む若者が事件に巻き込まれるケースが多々あり、そうした若者は複数の悩みを抱え正常な判断ができにくい状態にあるのが特徴です。町田市では、2019年3月に策定した「町田市自殺対策計画」内の新規事業として「自殺に関連するグーグル検索対応事業」を開始しました。これは、町田市内で自殺関連のキーワードをグーグルで検索した際に、町田市の悩みの相談先が広告として検索結果に表示されるものです。

〈代表的な検索エンジンで「死にたい」と入力された回数（国内）〉



- 日時 9/11 (水) 15:00～17:00 (受付 14:30～)
- 会場 町田市民ホール
- 参加費 無料 定員 800名 (申込順)
- 主催 町田市 後援 町田商工会議所
- 協力 一般財団法人町田市文化・国際交流財団
- 申込先 町田市イベントダイヤル ☎042-724-5656

または町田市イベント申込システム「イベシス」
<https://www.event-sys.call-center.jp/WebEntry/machida/EventSearch.aspx>



季節のメディカル 熱中症患者の半分は高齢者です 本人もまわりの人も予防を心がけて！

日中の炎天下だけでなく、室内や夜間でも多く発生しているのが、高齢者の熱中症の特徴です。家族やまわりの人も、暑ければいつでもどこでも起こる危険があることを認識して、日頃から注意し、積極的に声をかけてください。

高齢者はなぜ、熱中症になりやすいの？

●体内の水分不足

体のなかの水分量が若者と比べると少ないため、脱水状態に陥りやすくなっています。また、体内の老廃物を排出する際に、たくさんの尿を必要とします。

●暑さを感じにくい

加齢により、暑さやのどの渇きに気づきにくく、体が出すSOS信号をキャッチしにくくなっています。

●暑さに対する調整機能の低下

高齢者は体温調整機能が低下しているため、体に熱がたまりやすくなります。これによって、暑いときには、若年者よりも循環系への負担が大きくなります。

●頑固、無理をする

「まわりに迷惑をかけたくない」「体が冷えるのがいや」「夏は暑いものだ。多少はがまんしなければ」など、ついつい無理をし、自分流の生活スタイルを変えない人も多いようです。

しかし、体が加齢で変化しているうえに、真夏日や熱帯夜の増加などの影響で、以前より夏は暑くなっています。これまでと同じような夏の過ごし方では対処しきれないことを理解する必要があります。

どうすれば熱中症を防ぐことができるの？

●こまめに水分補給する

普通に食事ができ、大量に汗をかいていなければ水や麦茶でOK。汗をたくさんかいたらスポーツドリンクを。普段の水分補給は常温で大丈夫。冷たい飲み物のとり過ぎには気をつけつつ早く体を冷やす必要がある際は冷たい飲み物を。

●部屋の温度をはかる

体感にたよらず、部屋に温度計を置き確認すること。

●1日1回は外に出る

高齢者は汗をかきにくいのが特徴ですが、汗をかくのに慣れると発汗量も増えます。散歩など無理のない範囲で汗をかく習慣づくりを。室内でストレッチなど軽く体を動かすだけでも多少は有効です。

●エアコンをうまく活用する

体に直接当たらない風向きにしましょう。冷たい空気は下に降りるので天井付近に送風するだけでも、部屋全体が冷えます。設定温度の下げ過ぎは要注意。外気温との温度差が大きくなり、体の負担になることもあります。

●部屋の風通しをよくする

窓を開けて空気を入れましょう。ただし外の温度が高いと、かえって室温が上がることもあります。扇風機や送風機を活用し部屋の空気を動かすことが重要です。

●涼しい服装で過ごす

綿や麻などの自然素材や、スポーツウェアなどの吸汗・速乾性に優れた素材の衣類がおすすめです。

●すだれやカーテンを活用する

窓を開けて風通しよく、カーテンは閉めて直射日光を防ぎましょう。

高齢者の周囲の人はこんな点に注意しよう

高齢者でも運動習慣を身につければ体温調整機能の老化を遅らせることができます。1日1回、汗をかく運動をして体力づくりを！そのうえで、次のことに注意！

●体調

元気か、食欲はあるか、熱はないか、脇の下・口腔の乾燥具合

●具合

体重、血圧の変化、心拍数、体温

●環境

世話をする人がいない間の過ごし方、部屋の温度や湿度、風通し、換気、日当たり

暑さ指数(WBGT)や熱中症予防情報は以下のホームページでもご覧いただけます。ぜひ参考にし、予防を心がけましょう。

環境省「熱中症予防情報サイト」
<http://www.wbgt.env.go.jp/>



町田市「熱中症の予防と注意点」
<https://www.city.machida.tokyo.jp/iryo/iryo/kenkoujyuhou/nettyuusyou3.html>



安全でかんたん、リーズナブル 大腸がん検診で毎年のチェックを！

発症数や死亡数が多い一方、早期発見・早期治療ができれば90%以上が完治するといわれているのが大腸がんです。

大腸がんとは？

日本人の大腸がんはS状結腸と直腸に発生しやすいといわれます。腺腫という良性のポリープががん化するものと、正常な粘膜から直接発生するものがあります。

大腸がんになる率は40歳代から上昇しはじめ、50歳代で加速し、高齢になるほど高くなります。男性では胃、肺に次いで3番目、女性では乳房に次いで2番目に多いがんです。

大腸がんの症状は？

初期では自覚症状がほとんどありません。進行すると血便や下血、下痢と便秘の繰り返し、便が細くなる、便が残る感じ、お腹が張るなどの症状があります。さらに進行すると腸閉塞(イレウス)になります。大腸がんの転移が、肺や肝臓の腫瘍として先に発見されることもあります。

発生の要因は？

生活習慣とかかわりがあるとされています。赤肉(牛、豚、羊など)や加工肉(ベーコン、ハム、ソーセージなど)の摂取、飲酒、喫煙、肥満などで発生のリスクが高まり、運動によりリスクが低下するといわれています。生活習慣の見直しと、定期的な大腸がん検診を受けることが大切です。

大腸がん検診のメリットは？

大腸がん検診は問診と2日間の便を採取する便潜血検査で、安全でかんたん、安いというメリットがあります。便ががんやポリープなどの表面と接触することによって付着した、目に見えない血液も検出することができ、がん死亡率

を減らす科学的根拠が証明されています。2017年度は町田市大腸がん検診を2万1,817人が受け、がん(確定)は89人、ポリープは718人発見されました。

正しい判定のためのPoint!

- 便を正しくとる。(下図参照)
- 出血は間欠的なので、2日間の便をとる。
- とった便は4℃程度の冷所に保管し、できるだけ速やかに医療機関へ提出する。

判定後の対応が大切!

●要精密検査と判定された方

「症状がないから大丈夫」などと自己判断せず、必ず精密検査を受

けてください。出血などの症状は痔などでも見られるため、そのまま放置すると治せるはずのがんを進行させてしまうかもしれません。精密検査はまず全大腸内視鏡検査(大腸カメラ)を受けましょう。ポリープや早期がんが見つければ、内視鏡で切除できる場合もあります。再度の便潜血検査だけでは精密検査として不十分です。

●精密検査不要と判定された方

大腸がんのなかには急速に進行するがんもあります。早期発見のために、40歳を過ぎたら毎年、定期的に検診を受けましょう。血便や腹痛、便の性状や回数に変化したなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

お問い合わせ

健康推進課 成人保健係
☎042-725-5178

町田市大腸がん検診

町田市に住民票があり勤務先などで検診を受ける機会がない方は、実施期間内に1回受けることができます。

- 対象 40歳以上の方(2020年3月31日時点)
- 実施期間 2020年2月29日まで
- 費用 800円
- 申込方法 実施医療機関に直接、お申し込みください。

大腸がん検診について詳しくは市役所代表(☎042-722-3111)または町田市ホームページをご確認ください。
<https://www.city.machida.tokyo.jp/iryo/iryo/gankennshin/daichogan.html>



《便の正しいとり方》

採便棒で便の表面をまんべんなくこする

採便棒で便を突き刺したり、ひっかいたりしない



健康 シグナル

お問い合わせ

保健予防課 母子保健係
☎042-725-5422

すこやかな言葉の発達のために 新生児聴覚検査を受けましょう

新生児聴覚検査とは？

新生児聴覚検査は、耳のきこえ（聴覚）の障害を早い時期に発見するため、出生後間もない時期に行う検査です。赤ちゃんが眠っている間に、聴覚障害の疑いがないかを調べます。

生まれつき耳のきこえに問題がある赤ちゃんは、1,000人に1~2人といわれます。早い時期に適切な治療や支援を受けることで、コミュニケーションの形成や言語発達の面で大きな効果が得られるので、早期発見が重要です。検査は出産後、できるだけ退院前に、出産した病院で受けるようにしましょう。

耳のきこえに関心を持ちましょう

現在、乳幼児健診で耳のきこえの確認を行っていますが、聴覚の障害は生まれつきだけでなく、その後の病気などから起こるものがあり、保護者が見つかることもあります。すこやかな言葉の発達のためにも、早期の発見を心がけたいものです。日常の赤ちゃんの様子に注意しましょう。

耳のきこえで 心配だったら

新生児聴覚検査や成長の過程で心配なことがある場合は、一人で悩まず、近くの保健所に相談してみましょ。う。

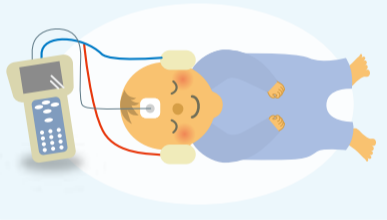
検査費用の一部を 助成します

町田市では、新生児聴覚検査に対する費用助成を行っています。詳しくはお問い合わせください。

助成金額 3,000円
※超えた分は自己負担額が発生します。

助成の受け方 妊娠届時にお渡ししている「新生児聴覚検査受診票」を医療機関に提出してください。

検査費用助成についての詳細はこちら
<https://kosodate-machida.tokyo.jp/mokuteki/1/9/4181.html>



健康 レスキュー

お問い合わせ

保健総務課 総務係
☎042-724-4241

AED（自動体外式除細動器）を 貸し出しています

もし、誰かが意識を失い倒れている状況に出合ったら、あなたならどうしますか？ 救急車が到着するまでの間に、その場に居合わせた人によるすこやかな救命処置が、傷病者の生存率を大きく左右することが少なくありません。

救命処置ができる AEDとは？

AED（自動体外式除細動器）とは、心臓が突然停止した際に電気ショックをあたえ、心臓を正常な状態に戻す医療機器です。心臓が停止した場合、一刻も早く人工呼

吸、心臓マッサージを行うとともに、AEDなどによって心臓に電気ショックをあたえることが必要です。AEDの操作は、電源を入れると機器の音声メッセージが救助者に使用方法を指示し、AEDが必要ないと判断した場合はボタンを押しても通電されないなど、安全に使用できるようになっています。

町田市では無料でAEDの貸し出しを行っています。市民団体が実施する非営利のイベントであれば、ハイキングなど、会場が町田市外であっても貸し出し可能です。ぜひ、積極的にご活用ください。

AEDの貸し出しについて

申込方法 貸し出し希望期間の2か月前~7日前までに、保健総務課に申込書を提出（郵送も可能）。申し込みや取り扱いの詳細は町田市役所ホームページをご覧ください。

対象 市民が参加する行事など（営利を目的とするものを除く）を開催する町内会・自治会、そのほか市内で活動する団体。

貸出要件 医師、看護師、保健師、救急救命士または救命講習（AEDの操作方法を含む）を修了した者を当該行事の期間中会場に配置すること。

貸出期間 7日以内

AED貸し出しについての詳細はこちら
<https://www.city.machida.tokyo.jp/iryo/iryo/kenkoujyohou/20051226.html>



暮らしの トピック

海外に行く際は感染症にご注意！ 対策には渡航前の予防接種を

お問い合わせ

保健予防課 保健予防係
☎042-724-4239

海外で感染症にかからないようにするためには、正しい知識と予防方法を身につけることが重要です。渡航先の感染症発生状況に関する情報を事前に入手し、適切な感染予防を心がけましょう。

海外旅行では時差や気候のちがいをなどから、さまざまなストレスを受けます。その結果、体の抵抗力が落ち病気にかかりやすくなってしまいますので、無理のないスケジュールを心がけましょう。

海外で感染症にかからないために

渡航先や現地での行動により異なりますが、もっとも多いのが食べ物・水を介した消化器系の感染症です。加えて、日本では発生していない動物・蚊・ダニなどが媒介する感染症が流行している地域も多いので、その点も注意が必要です。旅行中には以下のことに注意しましょう。

- 手洗いをこまめにし、生水、

氷、カットフルーツの飲食を避け、食事は十分に火の通ったものを。

- マラリア・デング熱・ジカ熱などは熱帯・亜熱帯地域で広く発生する感染症です。長袖着用、素足やサンダルは避け、虫よけスプレーなどで蚊に刺されない対策を。

- 動物は狂犬病・MERSや鳥インフルエンザなどのウイルスを持つことも。むやみに動物に接触しないよう注意を。

- せきやくしゃみでうつる感染症流行時は、人混みを避けて。

海外への渡航前に 予防接種の確認を

必要に応じ予防接種を受けましょう。自分自身を感染症から守り、家族や周囲の人への二次感染を防止するためにも有効です。しかし（麻しん）、風しん、ポリオは海外で感染することがあり注意が必要です。これまで受けた予防

接種について、母子手帳などで確認しましょう。予防接種が推奨されている疾患のうち、まだ受けていないものがあれば、時間的な余裕を持って医師に相談するなど、適切な感染予防を心がけましょう。

渡航先により、必要な予防接種は異なります。渡航先の衛生状態や感染症の情報は、厚生労働省

「FORTH」などで確認することができます。予防接種の種類によっては、数回接種する必要があるため、なるべく早く渡航外来などの医療機関で相談しましょう。

厚生労働省検閲所ホームページ「FORTH」はこちら
<https://www.forth.go.jp/index.html>



<予防接種一覧>

出典：FORTH海外渡航のためのワクチン「予防接種の種類」

予防接種	対象
黄熱	感染リスクのある地域に渡航する人。入国に際して証明書の提示を求め国へ渡航する人
A型肝炎	途上国に長期(1か月以上)滞在する人、とくに60歳以下
B型肝炎	血液に接触する可能性のある人
破傷風	冒険旅行などでけがをする可能性の高い人
狂犬病	イヌやキツネ、コウモリなどの多い地域へ行く人で、とくに近くに医療機関がない地域へ行く人。動物研究者など、動物と直接接触する人
ポリオ	流行地域に渡航する人
日本脳炎	流行地域に長期滞在する人（東南アジアでブタを飼育する農村部など）
麻しん・風しん	海外へ渡航しない人も含めて、すべての人
髄膜炎菌	流行地域に渡航する人、定期接種実施国へ留学する人



皮まで使って 食品ロス削減

食品ロスとは本来食べられる食品が捨てられてしまうこと。未開封・未使用で捨てられる食品もあります。日本国内では年間600万トン以上の食品ロスが発生し、そのうち、約半分は家庭から捨てられた食品です。食品ロスを削減するには家庭での取り組みが必須です。給食施設で提供しているおいしい野菜料理のレシピを、食品ロスを減らすワンポイントとともにご紹介します。

今回使う食材は「なす」です。

レシピを提供して下さった『まちだ正吉苑』の管理栄養士、中神真季さんのお話では、「なすは皮をむいて料理しがちですが、しっかり火を通すことにより、皮までやわらかくおいしく食べることができます。また、切り方を変えることによって、ちがう食感が味わえます。この料理は、調理時間が約10分で手軽にできる一品です。しょうゆ以外にみそや焼き肉のタレなど、好みの味に変えてもおいしく召し上がれます」とのことです。

お問い合わせ 保健予防課 保健栄養係 ☎042-722-7996

なすとひき肉の炒め物

栄養成分量 (1人分) エネルギー量：197kcal
食塩相当量：1.0g



レシピ提供：社会福祉法人正吉福祉会 地域福祉サービスセンターまちだ正吉苑

- 材料** (2人分)
- ・なす 3本 (240g) ・鶏ひき肉 (120g)
 - ・油 大さじ1/2 (6g)
 - ・しょうゆ 小さじ2 (12g)
 - ・みりん 小さじ2 (12g)
 - ・砂糖 小さじ2 (6g)
 - ・万能ねぎ 1本 (4g)

- 作り方**
- 1 なすは乱切りにし、水にさらしてあくを抜き、水気をきる。
 - 2 フライパンに油を熱し、なすをしんなりするまで炒め、いったん取り出す。
 - 3 同じフライパンで鶏ひき肉を炒め、火が通ったら2のなすとしょうゆ、みりん、砂糖を入れて味を調える。
 - 4 皿に盛りつけ、小口切りの万能ねぎを散らしてでき上がり。



食育への関心と実践につなげるため 第2次町田市食育推進計画を策定しました

お問い合わせ 保健予防課 保健栄養係 ☎042-722-7996

町田市では、2013年に「町田市食育推進計画」を策定し、広く食育を周知し、市民が食育に関心を持ち実践につながるよう、食育推進ネットワークを構築して取り組んできました。今後もさらに、市内の関係機関、団体、行政などがそれぞれの特性をいかしながら、緊密に連携・協働して食育を推進していくため、「第2次町田市食育推進計画」を策定しました。

町田市の食育がめざす姿は、『食の「わ」で育むまちだの未来～感謝を持って食をたのしみ、食を通じて人や地域とのつながりが持てるまち～』です。ひらがなで表現された「わ」は、「環」「輪」「和」を意味します。

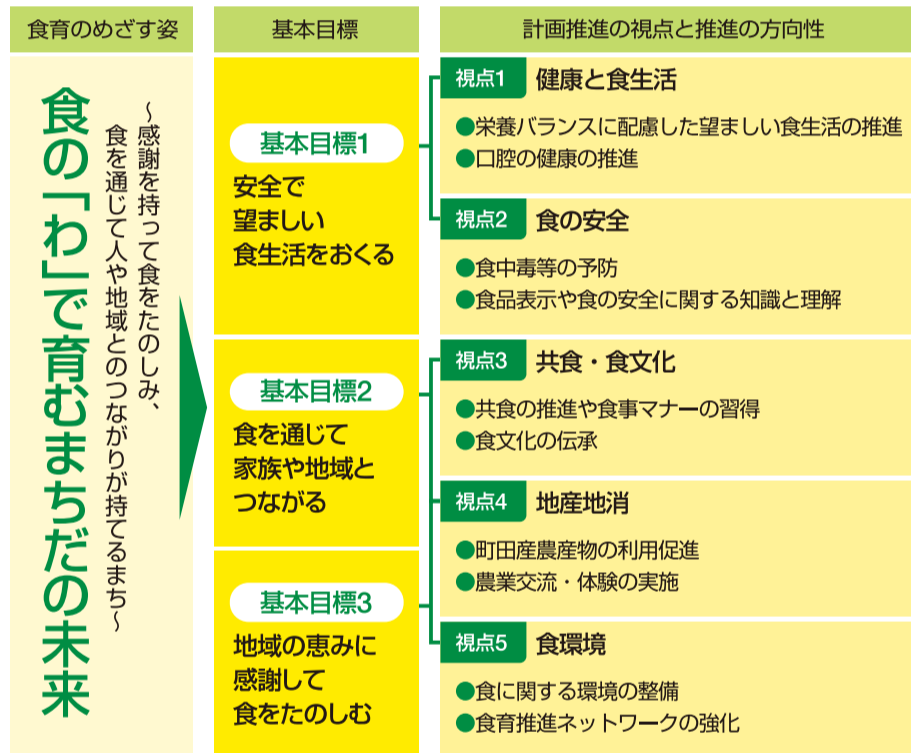
自然のなかで育まれた食べ物は、私たちの体や生きる力につながっており、次の世代へもつながっていることを示す「環」。食

に関係するすべての人々、つまり市民一人ひとりが主役となり、協力、連携しながら支え合う「輪」。また、和食のよさを見直し、和やかに食すことを示す「和」。食育のめざす姿を取り組みの理念とし、食の「わ」で、まちだの未来を育んでいきます。

本計画では、こうした町田市の食育のめざす姿を実現するため、3つの基本目標と5つの計画推進の視点を定め、市民と食にかかわる関係機関、団体、行政などで連携・協働し、取り組みを進めていきます。



【第2次町田市食育推進計画の体系図】



計画の詳細は、町田市ホームページからダウンロードすることができます。

町田市保健所のご案内

	課名・係名	主な業務
A 市庁舎7階	保健総務課	総務係 ☎042-724-4241 健康危機管理に関する企画及び調整、地域保健に係る統計及び調査、救急医療
	健康推進課	保健医療係 ☎042-722-6728 診療所、薬局等の開設許可・監視指導、災害医療
		健康推進係 ☎042-724-4236 自殺防止等の普及啓発、健康に関する情報発信
	保健予防課	成人保健係 ☎042-725-5178 成人健診・がん検診等
保健予防係 ☎042-724-4239 予防接種、医療費助成（結核、感染症）		
B 健康福祉会館	母子保健係 ☎042-725-5422 母子手帳の交付、妊婦健康診査、乳幼児の健康診査	
	事業第一係 ☎042-725-5437 歯科健診・歯科健康教育	
	保健予防課 (町田地区、南地区)	町田地域保健係 ☎042-725-5127 母子保健・成人保健・精神保健・難病保健に係る保健指導、健康づくり推進員地区活動、感染症予防と普及啓発・発生時対応
C 保健所中町庁舎	南地域保健係 ☎042-725-5127 歯科健診・歯科健康教育	
	事業第二係 ☎042-722-0626 栄養相談、栄養・食生活に関する講習会、栄養成分表示相談、食育推進、特定給食施設指導、国民健康・栄養調査	
	保健予防課 (堺・忠生地区)	保健栄養係 ☎042-722-7996 母子保健・成人保健・精神保健・難病保健に係る保健指導、健康づくり推進員地区活動、感染症予防と普及啓発・発生時対応
	堺・忠生地域保健係 ☎042-722-7636 犬の登録、狂犬病予防注射済票の交付、適正飼育に関する普及啓発、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の費用補助、犬の捕獲・収容、迷い犬・迷い猫の連絡受付	
D 鶴川保健センター	生活衛生課	愛護動物係 ☎042-722-6727 理容所・美容所・クリーニング所・公衆浴場・旅館・興行場等の営業許可・監視指導、住まいの衛生に関する相談・アドバイス
	保健予防課 (鶴川地区)	環境衛生係 ☎042-722-7354 飲食店等の営業許可・監視指導、食中毒の防止・調査
		食品衛生係 ☎042-722-7254 母子保健・成人保健・精神保健・難病保健に係る保健指導、健康づくり推進員地区活動、感染症予防と普及啓発・発生時対応、歯科健診・歯科健康教育
	鶴川地域保健係 ☎042-736-1600	

町田市保健所の所在地

- A 市庁舎7階**
〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22
- B 健康福祉会館**
〒194-0013 東京都町田市原町田 5-8-21
- C 保健所中町庁舎**
〒194-0021 東京都町田市中町 2-13-3
- D 鶴川保健センター**
〒195-0062 東京都町田市大蔵町 1981-4

鶴川保健センターが2017年4月から鶴川市民センターに併設されています。鶴川地域の健康に関する各種ご相談をお受けしています。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。 **リサイクル適性** (A)

この広報紙は、企画から印刷まで外部へ委託しており、130,000部作成し、1部あたりの単価は18円です（職員人件費を含みます）。